育成・選手コース募集

努力(どりょく)は心(こころ)に、結果(けっか)は形(かたち)に！本気(ほんき)でやれば何(なに)かが変(か)わる！

育成コース ～体操競技の基礎を身につけるとともに、上級クラスへのステップアップを目指す～

コース・クラス		レベル	時間	会費	回数
育成	C	幼　児：16～20 級	平日 17:30～18:30 土日 17:00～18:00	9,900 円～	週 2 回以上 （原則週 3 回以上）
	B	低学年：11～15 級	平日 17:30～19:00 土日 17:00～18:30	11,000 円～	週 3 回以上 （A は原則 4 回以上）
	A	高学年：6～10 級	平日 17:30～19:30 土日 17:00～19:00	12,100 円～	

回　数	育成コースは原則週 3 回以上。レベル・クラスにより回数が異なります。
服装等	男子：T シャツ、体操短パン ／ 女子：レオタード、育成 C：レオタード推奨（T シャツ・短パン可）

選手コース ～より高度な技術を習得するとともに、各種大会出場を目指す～

コース・クラス		レベル	時間	会費	回数
選手	C	5級（低学年10級）～	平日 17:30～20:00 土日 17:00～19:30	13,200 円～	週 4 回以上 （原則週 6 回）
	B	B 級	平日 17:30～20:30 土日 17:00～20:00	13,700 円～	
	A	A 級	平日 17:30～21:00 土日 17:00～20:30	14,300 円～	

回　数	選手コースは原則6回。レベル・クラスにより回数が異なります。
服装等	男子：T シャツ、体操短パン、体操長パン ／ 女子：レオタード

＊原則回数は、各コースの目的達成のために必要な回数です。レベル・クラスにより必要回数は異なります。
＊レベル外でも、資質や意欲により選手・育成コースへの変更及び入会を認める場合があります。
＊学校等の体操部に所属している場合、学校等の活動を含め、当クラブでの最低回数を決定いたします。

選手・育成コース選考方法

【選手・育成コース対象レベル】

20～16	15～11	10～6	5～1	B10～B1	A10～A1
育成 C(幼児)	育成 B(低学年)	育成 A(高学年) 低学年選手	選手 C	選手 B	選手 A

【選考方法】

選考方法		
Ⅰ	育成・選手選考テスト	＊ランクテストで該当レベルになった者を対象に実施します。
Ⅱ	特別選考(資質・意欲)	＊資質:筋力・柔軟性・総合的な運動能力等、活動に必要な資質を持っている。 ＊意欲:大会出場を目指し、より高度な技術習得のために努力する意志がある。
Ⅲ	指導者推薦及び認定者	＊競技経験者等、選手・育成コースでの活動が望ましいと認める者。

【レベル外対応表】最低回数＋必要回数

育成 C 【原則週 3 回(最低週2回)】	育成 B 【週 3 回以上】	育成 A【週4回以上(最低 3 回)】
幼児(16級～20級)	低学年(11級～15級)	高学年(6級～10級)
21～25級:＋1日 26～30級:＋2日 31～35級:＋3日 36～40級:＋4日	16～20 級:＋1 日 21～25 級:＋2 日 26～30 級:＋3 日	11～15 級:＋1 日 16～20 級:＋2 日 21～25 級:＋3 日
選手 C 【週 4 回以上】	**選手 B 【週 4 回以上】**	**選手 A【週 4 回以上】**
5 級以上(低学年 10 級)	B 級	A 級
6～10 級(低 11-15 級):＋1日 11～15 級(低 16-20 級):＋2日	5 級～1 級:＋1日 10 級～6 級:＋2日	B 級:＋1日 5 級～1 級:＋2日

【選手・育成コースの回数設定】

選手コースは、全国大会等に出場するために必要な技術の習得を目指すことを目的として週6回を設定し、育成コースは、各年齢で選手コースにステップアップするための回数を設定しています。回数が少ない場合、目的達成が難しく、回数が多い場合、より早く目的を達成し新しい目標設定ができます。

	週 6 回(選手)	週 5 回	週 4 回(育成 A)	週 3 回(育成 ABC)	週 2 回(育成 C)
選手 A	全国大会レベルの技術習得し、全国・全日本ジュニア出場を目指す。				
選手 B	県選手権レベルの技術を習得し、県ジュニア選手権出場を目指す。				
選手 C	市大会 4 種目レベルの技術を習得し、市大会 4 種目出場を目指す。				
育成 A			市大会レベルの技術を習得し、市高学年 2 種目、県ビギナー大会出場を目指す。		
育成 B				市低学年 2 種目、県ビギナー大会出場を目指す。	
育成 C				県ビギナー大会出場を目指す。	基礎基本を習得し、上級コースへの進級を目指す。

回数が少ないほど、目標達成が難しくなるため、最低回数を定めています。

回数が多いほど、より早く目標を達成し、新しい目標設定ができます。

【目標レベルについて】個人差はありますが、今までの活動傾向です。

【大会参加について】市大会以外に参加する場合、体操協会等に選手登録をする必要があります。
原則として選手から大会に出場しますが、育成コースから大会に参加する場合もあります。